

一刀彫りの大黒天

創業以来の守り本尊

社長室に鎮座する一刀彫りの大黒天は、当社の創業以来の守り本尊だ。いつ彫られたか定かではないが、数年前、お身拭いしたところ、背面に「昭和二十五年三月二十五日開眼」の文字が見つかったので、1950年から事務所にあったことになる。

母から聞いたところによると、昔在籍して

何度も大きな危機があったが、無事乗り越えられたのは大黒天のお陰



越野運送社長
越野 泰弘氏(54)

いた従業員の父親が一刀彫りの職人だったことが縁で、父がいただいたのだという。材質はよく分からないが、台座とともにかなりの重さがある。

第2室戸台風(61年)の時、避難命令が出たので、取るものも取りあえず逃げようとしたところ、靈感の強かった祖母が突然、「大黒さまが、私を連れて行きなさいと言っている」と言い出したので、父は慌てて担いで持ち出したそうだ。そのお陰か、家族は全員無事だった。

66年に火災に遭った時も、火の回りかけた事務所から父が命懸けで持ち出した。当時の焼けコゲは今も残っているが、一人の犠牲者も無く、その後の商売も順調に持ち直した。

それから何度も大きな危機があったが、無事乗り越えられたのは、この大黒天のお陰だと、今でもそう信じている。